新潟江南高等学校
進路かわら版　第６号
進　路　指　導　部
令和５年１月16日発行

ここからが勝負！顔を上げて前へ。

３年生の皆さん、大学入学共通テスト受験、お疲れ様でした！

皆さんは、新傾向の問題に取り組みながら、それぞれ懸命に準備を進めてきたことと思います。自己採点を終えて、抱く感慨は人それぞれかと思いますが、これで終わりではありません。むしろ受験マラソンは、始まったばかりと言ってもいいのです。未来はまだまだ拓くことができます。共通テストの自己採点の結果を冷静に受け止め、これからできることに集中しましょう。受験という機会が、学力はもちろん人間的にも、皆さんの成長に資する経験であってほしいと願っています。

自己採点から出願まで

■　心身の自己管理が合格への最短ルート

１．気力・体力を維持する

①共通テストからの切り替えをいかに早くできるか

共通テストが終わって、気が抜けてしまった人はいないだろうか。気持ちを切らさず、ここまで培ってきた勉強体力を落とさないようにしてほしい。学習する科目数が減っても学習時間はキープ。まずは部屋の片付けなどで環境を整え、新しい生活リズムを確立しよう。

②共通テストでうまくいかなかったと思っている人

今は思うようにいかず、落ち込んだり悔やんだりしている人の方が多いのではないだろうか。しかし、合否が決まったわけではない。先輩たちの事例を見ても、２次逆転は起こっている。不安に負けず、今やるべきこと、次の試験に集中しよう！

③目標点を超えた人

ほっと一安心しているかもしれないけれど、まだ油断はできない。目標点は、去年までの入試結果に基づくもので、判定は予想にすぎない。ここで気を緩めて、漫然と時間を費やすことのないように用心しよう。勝負は合格をもらうまで分からない。過去問はもちろん、基礎対策に丁寧に取り組もう。

２．勉強を再スタート！

さて、帰ったら何から始めようか？国公立大学の前期日程まで残り３９日、私立大学の入試ピークは２週間後だ。受験に伴う移動日も必要なため、集中して勉強できる日は案外少ない。しかし、「現役生は最後の一秒まで伸びる」とはよく言われること。今日からの日々をこれまで以上に充実させながら、後期日程までとことんやり抜こう。

①特編Ⅱ期に積極的に参加する

「家だと勉強に集中できない」と感じる人は多いのではないだろうか。また、一人で勉強していると、弱気や不安が首をもたげてくるものだ。頑張っている仲間の姿は何よりの励ましになる。午前は講習、午後は学校での自習と個人指導の時間とするのが最善の道だ。

②第一志望校を中心に大まかな勉強プランを立てる

あまり綿密でなくていいので、受験スケジュールをふまえたプラン（過去問演習や私大対策を、いつどのくらいやるのか、など）をたててみよう。志望校の出題傾向に沿った対策が中心だが、直前で慌てないためにも、他の志望校対策も考慮しよう。

③すぐに過去問・小論文・面接対策を始める

合格に満点は必要ない。過去問演習は６割解ければ上々。どうしたらあと１割とれるか考えよう！過去問題は、大学からのメッセージだ。「この問題にわくわくするかい？」「この問いにどう向き合ってくれる？」大学からの声をくみ取りながら、誠実に取り組んでほしい。

④苦手科目は基本事項を確実に習得し、得意科目は徹底して磨きあげる

あれこれと新しいことをやるよりも、今まで積み上げてきたものの完成度を上げていくことが大切だ。記述問題は、部分点を稼げるのが利点。先生方に食らいついて、本物の実力を身につけよう。

個別指導が効く！

記述形式の解答や、小論文、面接は他人が評価するものだ。独りよがりでは伝わらない。その点ではコミュニケーションと同じだと言える。個人添削も、個々の課題を見つけてよりよくするためのアドバイスをもらい、修正し、また指導をしてもらう、というコミュニケーションの場だ。もちろん、厳しいことを言われる場面もあるだろう。だが、「良薬口に苦し」というように、耳の痛いアドバイスこそ価値がある。例年、このやりとりを通して、先輩たちが急成長する姿を見てきた。「どんどん、ご意見ください！」という積極的な姿勢で臨んでほしい。

添削を頼むときは、先生方も授業があるので、余裕をもってお願いするようにしよう。そして、受験や結果の報告、お礼の言葉も、大人のマナーとしてお忘れなく。

出願

■志を持ちつつ現実を見据えて冷静に受験プランを再考する

１．受験校の決定

君たちは、第一志望校を目標にここまでよく頑張ってきた。だからこそ、今の持ち点（＝共通テストの得点）を最大限に活かした出願にしたい。目標点を上回っている場合も、届かなかった場合も、新たな選択肢も含めて受験校を再検討し、納得した上で決定しよう。そして決定後は前だけを見て進もう！

①データは多角的に検討しよう

自分の判定だけを見て出願校を決めるのは危険だ。入試は様々な要因でその年ごとに状況は異なる。２～３年前までの合否分布や、募集人員の変化なども見る必要がある。

②先生方のアドバイスにも耳を傾けよう

誰もが初めての大学入試。もちろん、主役は君たち自身だ。最後の決断は自分がするしかない。しかし、多くの複雑な受験データをどう理解すればいいのか、君たちの希望を最大限活かすにはどんな選択肢があるのか、先生方は研究している。先生方は君たちの伴走者だ。決断前によく相談して欲しい。

③自分にとっての優先順位を確認しよう

志望校検討の際には、判定だけで決めるのはやめよう。自分は進学することに何を望んでいるのか、大学の特徴や入試の特徴、受験日程、費用なども含めて多面的に検討することが大切だ。考えを整理したり、その情報を保護者の方や先生方と共有したりするために、ノートに書き出すことを勧める。

２．出　願

出願は十分な余裕をもって早めに進めよう。締め切り間際ではトラブル対応が難しくなる。

他でもない自分の受験なのだから、まずは自分自身で願書を熟読し、ミスのないように出願しよう。

①出願書類を準備する

受験校が決まったらまずは調査書の申請を担任の先生にしよう。１週間程度の余裕を見て早めに申請すること。顔写真の他、「活動報告書」等が必要な場合もある。要項をよく確認して準備しよう。

②出願登録をする

ネット出願であっても、可能であれば「募集要項」も印刷しておこう。

③受験料を振り込む

領収書や受領書は保管しておこう。

④出願書類のコピーをとる

万が一のトラブルに備えて、発送前に記入済の出願書類一式のコピーを、一括して保管しておこう。

⑤出願書類の郵送をする

郵送の場合は「書留」で送ること。（大学からの指示がある場合は、それを守ること。）

⑥受験票の印刷をする

届いた受験票をコピーしておこう。合格発表だけでなく、入学手続きの際にも受験番号が必要になることがある。

受験と合格後

■心身を整えて力を発揮する

１．受験会場に向かうまで

①受験会場・交通手段・宿泊の確認と手配をする

受験会場は大学所在地とは限らない。交通機関の確認は、天候不順の場合や曜日も考慮しよう。

②学割の申請や公欠の届け等、校内手続きも忘れずに

③慎重な体調管理と適度な気分転換を

２．受　験

①問題をよく読み最後の１秒まで真剣に問題に取り組む

②終わった試験を引きずらない

特に私立大学を中心に受ける人は受験本番が続く。体力・気力がここでも鍵になる。

■結果が出たら

１．諦めない！

悩みに悩んで決めた受験プランは最後まで戦い抜こう。特に３月になると「もうここでいいか」と受験をやめたくなることがあるが、ここが最後の踏ん張りどころだ。「３月末まで戦い抜く」と腹をくくると、周囲に左右されずに集中しやすい。可能性は最後まで棄てない！

２．必ず結果報告を

①結果はすぐに報告する

どんな結果でも、その都度速やかに担任の先生に報告をすること。また、個人指導でお世話になった先生へのお礼と報告も忘れずに。もちろん、家族にも照れずに言葉で感謝を伝えよう。

②不要になった調査書は必ず返却する

３．入学手続きは確実に

合格後、所定の手続きを経て初めて入学が許可される。入学金や学費の納入は、期限に注意して確実に手続きしよう。

感染症対策への対応

■感染予防

通常の感染対策をしっかりした上で、試験会場には、予備のマスクやハンカチなどを持参しよう。

■入試日程・方法の急な変更

感染状況によっては急な変更もありうる。大学のHPをこまめに確認し、様々な状況に対応できるようにしよう。変更が発表されると、不安になるかもしれないが、ライバルも条件は同じ。冷静に、具体的な対応を進めていこう。不明な点は、質問事項を明確にして大学の入試課に遠慮なく問い合わせよう。

〈 1、2年生 〉

Kプロジェクト発表会を有意義に！　～ 探究のススメ④ ～

現代社会の課題について、１年生はグループ活動で、２年生は個人個人で調査や分析を進めてきました。２月には１・２年生ともポスターセッションによるＫプロジェクト発表会が予定されています。２年生はパワーポイントを用いた個人の発表が終わり、各分野の代表による発表となります。各自の問題意識に基づいて課題設定されたテーマにどのような視点でアプローチして探究を深めたのか、興味深い発表会になりそうです。

ポイント

■質疑応答への意識
どんな質問でも答えられるようにしっかり調べてあるだろうか。自分とは違う視点で、疑問に思ったことを問われると、新たな気づきや理解が生まれることもある。

■授業・大学講義体験との関連
授業や大学講義体験で学んだことと、自分の調べたことを関連づけることによって、知識の定着度が増す。

■プレゼン技術への意識
手元の資料から目を離し、聞き手の目を見て話せるだろうか。自分の頭の中で内容を整理して順を追ってスムーズに説明する練習も必要だ。

■的確な表現への意識
ポスターは、重要な部分の色を変えたり文字の大きさを工夫したりして、見やすくできているだろうか。メリハリのある話し方ができているだろうか。聞き手の立場になって考えよう。

発表会では、発表者はもちろん、聞き手にも主体的な姿勢が大切です。聞き手の興味関心が双方向の刺激をもたらし、発表者のさらなる意欲を引き出すだけでなく、聞き手自身の視野も広げることになります。聞き手は発表内容について、**良質な質問ができるように**しましょう。

また、発表したら終わりではありません。現代社会の様々な課題について、自分なりに考察を深めたり関連事項についても調べたりして、さらに深化させていきましょう。大学の推薦型選抜、総合型選抜はもちろん、一般入試の面接・小論文・総合問題でも、探究やスクラップリレーで培ってきた教養や分析力が生きたと、実感できるはずです。

大学入試での質問・出題例（『学研　小論文問題集・分析集２０２２』より抜粋）

○信州大学（人文・人文）前期試験
四国遍路の現状に関する文章と資料を読んで、計算問題、グラフ作成、分析をする。

○宮城教育大学（教育・学校教員養成）前期
面ファスナーの図と資料を読んで、何をヒントにどのような仕組みの面ファスナーをつくり出したか、説明する。

○名古屋工業大学（工・創造工学教育）前期試験
石炭火力発電所の削減、マイクロプラスチックの問題解決、デジタル・デバイドの解決策のいずれかについて論述する。

１月共通テスト後～２月 進路関連行事

		１年生	２年生	３年生
１月	16 日（月）			大学入学共通テスト自己採点 特編Ⅱ期 開始　（～ 2/22）
	18 日（水）	総合探究	総合探究	
	20 日（金）			大学入学共通テスト結果説明会
	21 日（土）	進研模試（3 教科）	進研模試（5 教科）	小論文講習会（希望者） 小論文模試（希望者） 国公立大学出願三者面談
	22 日（日）		進研模試（5 教科）	国公立大学出願三者面談
	23 日（月）			※国公立大学出願受付開始（～ 2/3）
	25 日（水）	総合探究	総合探究	
	28 日（土）		保護者対象進路講演会	
２月	2 日（木）		進研大学入学共通テスト模試	
	3 日（金）		進研大学入学共通テスト模試	
	4 日（土）	全統記述模試(希望者)	進研大学入学共通テスト模試	
	8 日（水）		総合探究学年発表会	
	11 日（祝土）	保護者対象進路講演会		
	15 日~20 日	学年末考査	学年末考査	
	22 日（水）	総合探究学年発表会		
	25 日（土）			国公立大学前期試験開始